

永平寺の森保全事業（その2）

永平寺周辺の森林の状況

永平寺伽藍裏の沢と伽藍東側の沢の森林を踏査した結果、スギ植林では倒木が見られ根系の浅い状況が把握できました。また、広葉樹林でも倒木や立ち枯れが目立ち、手入れがなされていない状況が把握されました。

- 凡例
- : 針葉樹林（主として）スギ植林
 - : 針葉混交林
 - : 紅葉樹林



林床には光が入り、明るい比較的良く管理されたスギ人工林。間伐はやや遅れ気味

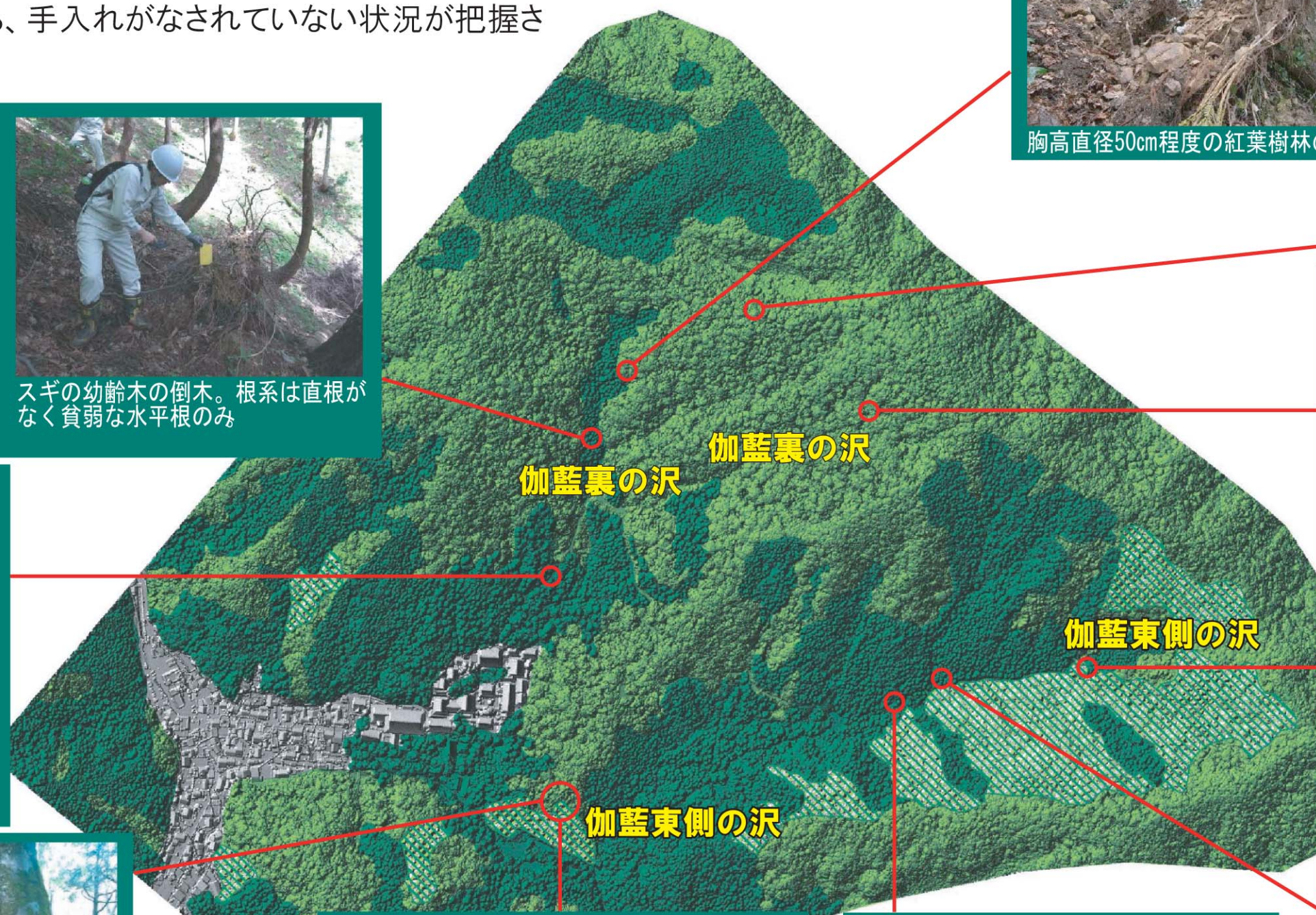
スギの幼齢木の倒木。根系は直根がなく貧弱な水平根のみ



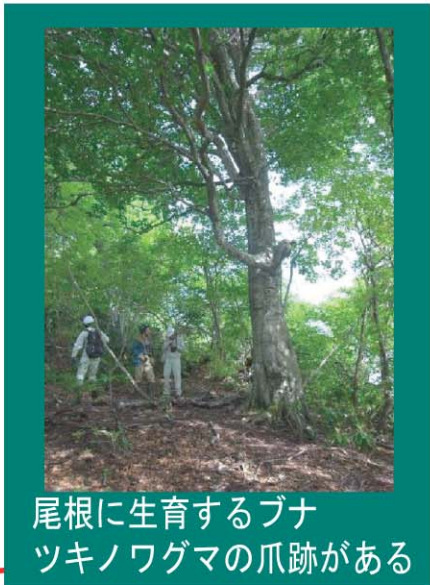
林道沿いの積雪によるスギの倒木。直根はなく水平根が密集しており根の厚さは1m未満



ご神木のようなケヤキ(左)とブナの老木(右)



胸高直径50cm程度の紅葉樹林の倒木



尾根に生育するブナツキノワグマの爪跡がある



イヌシデと思われる巨木の倒木



ご神木のようなケヤキの大木



伽藍東側尾根のヒヨクヒバの切り株は中央が腐朽して空洞化(樹齢は150年程度と推定)



間伐が遅れているスギの人工林は倒木が多い



比較的管理の良いスギの人工林であるが、間伐はやや遅れ気味